

(案)

# 東海村歴史と未来の交流館 年報

—令和 4（2022）年度—

第 2 号

東海村歴史と未来の交流館

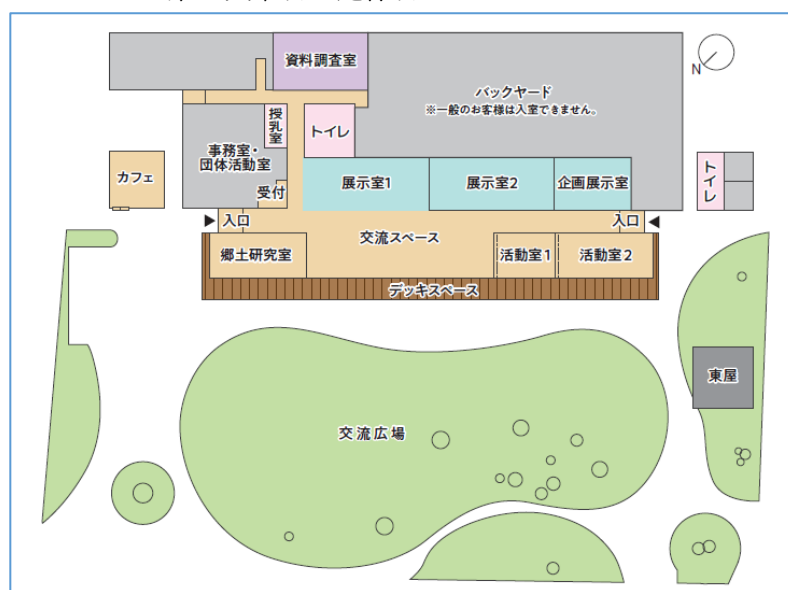
# 目 次

I	施設概要	1
1	施設及び利用案内	1
2	組織・職員	2
3	入館者の推移	2
4	館の運営	3
II	展 示	4
1	基本展示①（展示室 1）	4
2	基本展示②（展示室 2）	6
3	企画展示	8
4	展示解説	8
III	教育普及	10
1	学校連携事業（ジョイント授業）	10
2	とうかいまるごと博物館事業	11
3	とうかい子どもキャンパス事業	15
IV	交流事業・施設活用	17
1	にぎわいづくり事業	17
2	交流事業（関連団体利用）	17
3	視察等受入	17
V	情報発信・広報	19
1	情報発信・広報ツール	19
2	発行物	19
3	メディア掲載	20
VI	文化財	21
1	資料の収集（令和 3 年度新規収蔵資料）	21
2	資料の特別利用	21
3	保存・管理	22
4	調査・研究	23
5	指定文化財等一覧	23
	【参考資料】 東海村歴史と未来の交流館条例	27

# I 施設概要

## 1 施設及び利用案内

- (1) 名 称 東海村歴史と未来の交流館
- (2) 所 在 地 茨城県那珂郡東海村大字村松768番地38
- (3) 開 館 日 令和3年7月24日
- (4) 敷地面積 6,669㎡
- (5) 建 物 建築面積 2,664㎡／延床面積 2,836㎡  
鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上1階建て（一部2階建て）  
展示室1（106㎡）、展示室2（106㎡）、企画展示室（66㎡）、活動室1（46㎡）、活動室2（75㎡）、郷土研究室（74㎡）、交流スペース（223㎡）、資料調査室（85㎡）、交流広場（1,454㎡）、東屋（50㎡）、カフェ（50㎡）
- (6) 開館時間 午前9時から午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時）まで
- (7) 休 館 日 月曜日（月曜日が祝日の場合は、翌平日）、祝日の翌平日、  
年末年始（12月29日から1月3日まで）
- (8) 入 館 料 無料
- (9) 併設カフェ 事業者 KUROMATSU COFFEE（有限会社カピアン）  
開店時間 歴史と未来の交流館開館日の9:00～17:00（ラストオーダー16:30）  
※第4火曜日は定休日



- (10) 交通案内
- ▶ J R東海駅から徒歩約10分
  - ▶ 東海スマートICから自動車で約10分
  - ▶ 駐車場は施設向側の共用駐車場（約100台）  
※敷地内に多目的駐車場3台分

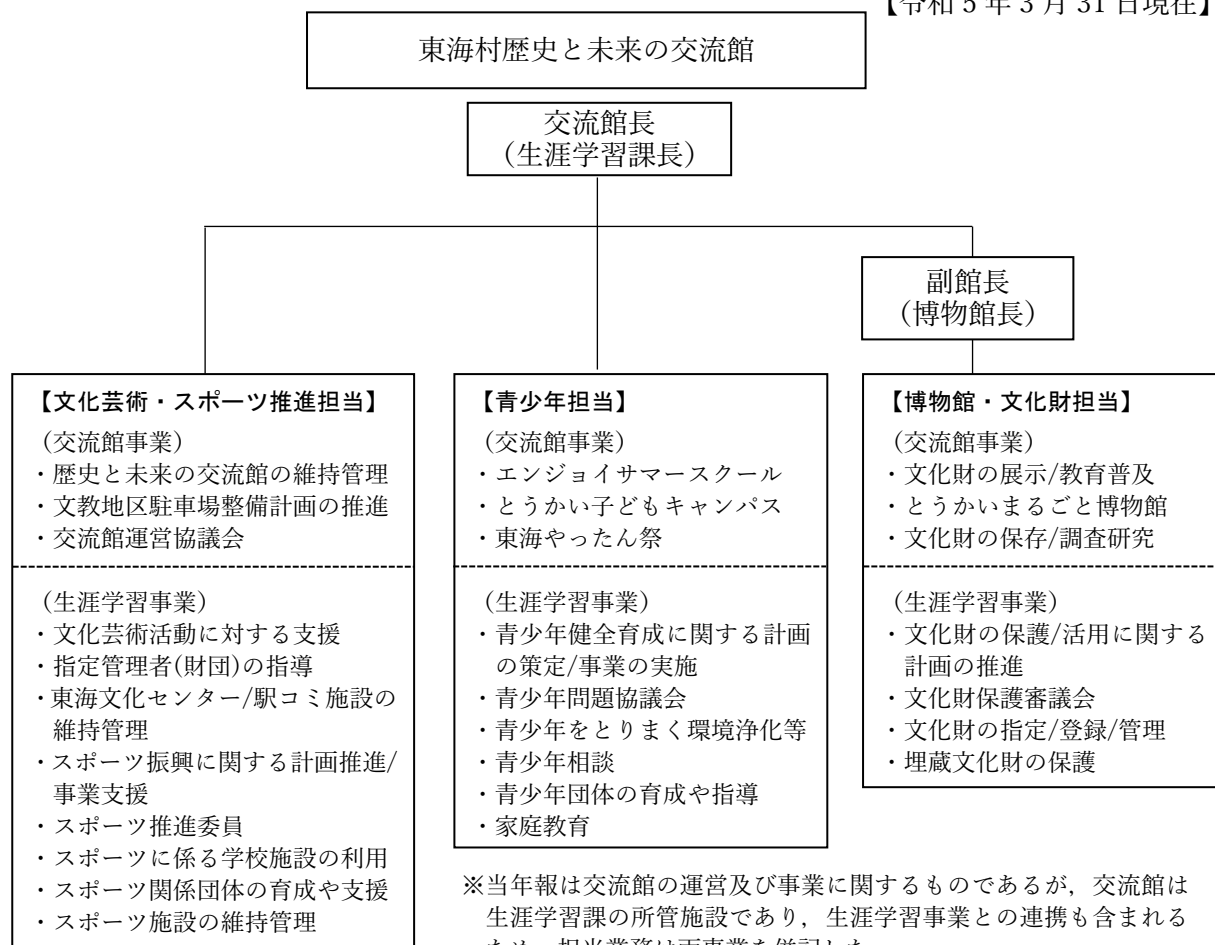


## 2 組織・職員

### (1) 運営体制

館長	1 名
副館長（博物館長）	1 名（会計年度任用職員）
文化芸術・スポーツ推進担当	6 名（うち会計年度任用職員 1 名）
青少年担当	7 名（うち会計年度任用職員 3 名）
博物館・文化財担当	10 名（うち会計年度任用職員 4 名）

【令和 5 年 3 月 31 日現在】



### (2) 運営協議会

協議会は施設の事業計画や実施状況などについて年 2 回程度、分科会は協議の必要に応じて随時開催する。委員は 10 名以内とし、任期は 2 年となっている。令和 4 年度は 2 回開催。

期日	協議事項
6 月 18 日（土）	・令和 3 年度事業報告について      ・令和 4 年度事業計画（案）について
10 月 29 日（土）	・今後の事業計画について      ・情報発信の方策について

## 3 入館者の推移

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
R3	—	—	—	3,086	4,609	243	3,532	3,618	2,529	1,941	1,527	2,666	23,751
R4	2,804	2,333	2,333	4,170	3,771	2,605	3,140	6,534	2,518	2,297	2,353	2,136	37,466

## 4 館の運営

令和4年度の館運営に係る主な経費は以下のとおり。

(単位：円)

項目		内訳	予算額	決算額
事業費	歴史と未来の交流館運営協議会運営事業	委員謝礼，実費弁償（交通費）	140,000	82,640
	エンジョイ・サマースクール開催事業	スタンプカード印刷代	160,000	159,500
	とうかい子どもキャンパス事業	講師謝礼，消耗品等	1,817,000	1,523,714
	東海やったん祭補助事業	やったん祭補助金	1,000,000	294,420
	基本展示・特別展示事業	消耗品，ポスター印刷，図録印刷，特別展制作委託等	1,735,000	1,695,095
	「とうかいまるごと博物館」実施事業	消耗品，ポスター印刷，まる博リーフレット・まる博ジャーナル印刷等	3,576,000	3,434,164
	石神城跡史跡整備事業	調査整備委員会委員謝礼，史跡内竹伐採等	6,187,000	5,845,810
	文化財保護事業費補助事業	文化財保護奨励報奨金，文化財保護事業費補助金	1,716,000	1,216,000
	埋蔵文化財発掘調査事業	文化財保護専門員等（会計年度任用職員）給与，文化財調査委託等	10,895,000	9,179,417
	史跡・文化財等調査管理事業	史跡・公園管理業務委託，文化財調査委託等	14,042,000	11,575,028
事業費計			41,268,000	35,005,788
施設管理費	報酬等	会計年度任用職員等報酬（博物館関連）	9,198,000	8,805,222
	負担金	博物館協会加入負担金	68,000	645,000
	需用費	消耗品費，光熱水費等	25,947,000	24,675,807
	役務費	通信運搬費，手数料等	2,026,000	1,810,685
	委託料	清掃，植栽管理，設備点検等	13,951,000	13,613,600
	使用料,賃借料，原材料費	防犯カメラ，AED 等	2,109,000	1,904,545
管理運営費計			53,299,000	51,454,859
合 計			94,567,000	86,460,647

※決算額は見込。

## Ⅱ 展示

総合テーマを「多様な人・もの・文化の交流により誕生した“開かれたムラ”」とする基本展示と、村の歴史や自然を様々なテーマで展示する企画展示で構成。

### 1 基本展示①（展示室1）

壁のない明るくオープンな空間で、「水辺のムラ東海村の風土」という小さな東海村を再現したエリアと体験・体感エリアから成り、村の自然環境とそこでつくられた風土を楽しく学ぶことができる。季節やテーマに合わせ、年4回の展示替えを行うとともに関連ワークショップやミニイベントを行う「まる博マルシェ」も開催。人の歴史は自然環境と密接につながっていることを村の自然の特徴と歴史から学ぶ。

#### （1）水辺のムラ東海村の風土

東海村の地形を模した絨毯の上に、村の自然環境の特徴とその場所で見られる歴史を展示。講座の成果や来館者からの情報を随時追加し、常に変化する展示としている。

##### ○主な構成

- ・絨毯…東海村の地形を低地や台地、海や川で異なる色や素材で表現。
  - ・擬木…村で見られる人が作った3種類の林（水害防備林・河畔林ーメダケ、砂防林ークロマツ、雑木林ー里山）を表現。四季に応じて、雑木林に桜、メダケ林にサギのコロニーなど変化する。
  - ・景観イラスト…村の中心から北側（久慈川）と東側（太平洋）を俯瞰した景観イラスト。その時々に見られる動植物の情報を展示。
  - ・歴史BOX…箱の中にその場所の歴史を展示。四季に応じて、各BOXの景観写真が変化する。
- （協力：東海村写真連盟）

Story 1	東海村が深海の底だった時代
Story 2	有力者が生まれた時代
Story 3	石神城の時代
Story 4	海辺に伝説のムラがあった時代
Story 5	砂との戦いの時代
Story 6	那珂台地のサツマイモの歴史 干し芋のたどった道



#### （2）体験・体感エリア

年に4回、テーマに応じた展示やマルシェ、ワークショップを開催。

中央には「まる博テーブル」と呼ばれる直径1.7mの円形テーブルを設置。テーマに応じて村の地図や航空写真、コンタ模型を設置できる。地図を重ねてみることもできる他、マグネットがつく仕様になっており、古墳の位置やホテル観測点などテーマに応じた情報をクリップ付きマグネットに挟んで立たせることもできる。また、半分に割ることができるようになっており、断面には地層概念図と各地層の古環境復元図が配置されている。

■夏季展示（7月～9月）

水辺のムラ 東海村の風土	体験・体感エリア （まる博マルシェ）	関連ワークショップ・ まる博イベント等
<p>▼文化的景観 「夏」</p> <p>（季節の展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬木：サギ山、青葉</li> <li>・吊もの：ツバメ</li> </ul> <p>【写真】※追加予定</p>	<p>▼化石から探る東海海底 300 万年</p> <p>○主な展示品：トウカイクジラの化石</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・展示解説ツアー（化石）・交流館バックヤードツアー（8/4）</li> <li>・ミュージアムトーク「進化のふしぎあのゲームのキャラクターは実は「進化」していない?!」（8/6）</li> <li>・ビーチコーミング（8/11）</li> </ul>

■秋季展示（10月～11月）

水辺のムラ 東海村の風土	体験・体感エリア （まる博マルシェ）	関連ワークショップ・ まる博イベント等
<p>▼文化的景観 「秋」</p> <p>（季節の展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬木：紅葉</li> <li>・吊もの：サケ、トビ</li> </ul> <p>【写真】※追加予定</p>	<p>▼交流館 de 文化祭</p> <p>東海村文化祭 50 周年を記念し、文化祭の歴史を振り返る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでアート</li> <li>・ピタゴラどんぐり</li> <li>・カラフルどんぐりづくり</li> <li>・謎解きミッション</li> </ul>

■冬季展示（12月～3月）

水辺のムラ 東海村の風土	体験・体感エリア （まる博マルシェ）	関連ワークショップ・ まる博イベント等
<p>▼文化的景観 「冬」</p> <p>（季節の展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬木：冬芽</li> <li>・吊もの：小鳥、ウミネコ</li> </ul> <p>【写真】※追加予定</p>	<p>▼古墳マルシェ</p> <p>1/100 サイズの模型で、東海村の古墳を紹介</p> <p>ちょっと昔の暮らし、昔のあそび</p> <p>主な展示品：芋洗棒、火鉢、東海郷里かるた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芋洗棒で里芋を洗おう！（1/4）</li> <li>・東海村郷里かるた DAY（1/14）</li> </ul>

■春季展示（3月～5月）

水辺のムラ 東海村の風土	体験・体感エリア （まる博マルシェ）	関連ワークショップ・ まる博イベント等
<p>▼文化的景観「春」</p> <p>（季節の展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・擬木：桜</li> <li>・吊もの：メジロ、ヒヨドリ</li> </ul> <p>【写真】※追加予定</p>	<p>▼かや葺き屋根の家をつくってみよう！ 茅葺き屋根の家をつくるワークショップをとおして、カヤや民具について学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○主な展示品 囲炉裏、押切</li> <li>○まる博テーブル 航空写真</li> </ul>	<p>・カヤ葺き屋根の家をつくってみよう（4/29）</p>

## 2 基本展示②（展示室2）

『人々が紡ぐ東海村の物語～人・もの・文化の交流と開かれたムラ』という題の一冊の本に見立てて、縄文時代から近現代までを実物資料を中心に6つの章で構成した展示としている。一部はトピックス展として年2回ほど展示替えを行う。「交流」をキーワードに、物語仕立てで村の歴史の特徴を展示することで、より深い興味をもって展示品を鑑賞し、それぞれが村の歴史を考えるきっかけとなることを意図している。

### ■第1章 照沼のとある青年の物語

縄文時代に水辺に誕生したムラ（堀米A遺跡）から出土した糸魚川産の翡翠や異なる地域の特徴を合わせ持つ土器等から、他地域との交流を描く。

○縄文時代

○主な展示品

翡翠製大珠・縄文式土器（堀米A遺跡）、石棒・土偶（御所内貝塚）



### ■第2章 水辺の王の物語

太平洋の入り江に面する古墳の副葬品に、遠く離れた地で生産されたものや海洋民を示すものがあることから、被葬者の海を介した交流について描く。

○古墳時代

○主な展示品

埴輪（権現山古墳・戸ノ内古墳・舟塚1号墳ほか）、須恵器（権現山古墳）





### ■第3章 砂と塩の物語

海岸沿いの製塩遺跡から出土した考古資料や人骨のDNA分析結果を基に、様々な地域の人々が出入りする海辺のムラの姿を描く。

○中世～江戸時代

○主な展示品

陶磁器・灯明具・硯・サイコロ・貝ほか（村松白根遺跡）



### ■第4章 旅人の物語

水辺が作り出した聖地・景勝地である村松地区が、人々の往来によって発展していく様子を描く。

○中世～現代

○主な展示品

近世の虚空蔵堂と真崎浦絵図、村松山虚空蔵堂の景、常陸国村松山勝景図（全て原資料は村松山虚空蔵堂蔵、複製）、村松山奉納経（個人蔵、複製）



### ■第5章 村人の物語

当時の村の人々の暮らしがみえるような資料を展示。

一部はトピックス展示として年2回ほど展示替えを行う。

○主な展示品

亀下村年貢割付状（亀下区有文書）

野上家文書（除忌見舞いとして鮭一尺差出に付き書状、すほんつりにつき書状）

：「千々乱風伝説の真相－移住を決意した村人たち－」をテーマに、令和3年12月から令和4年5月まで展示。

：「真崎浦干拓」をテーマに、令和4年6月から令和4年11月まで展示。

：「小さな石の故郷を求めて」をテーマに令和4年12月から展示中。



### ■第6章 開かれたムラの物語

東海村に日本で初めて設置された国立結核療養所・村松晴嵐荘と日本原子力研究所。それを契機に全国から集まった村の新住民と旧住民の交流、文化の創造を描く。

○近代～現代

○主な展示品

－人々の想い－言の葉サイコロ、東海駅看板、東海まつりハッピー



### 3 企画展示

基本展示だけでは伝えきれない村の歴史や自然を、様々なテーマで企画展示。令和4年度は4回開催。

#### (1) 夏季企画展「絵図から見る真崎浦の干拓」

80年間の真崎浦干拓事業について、各年代の絵図を中心に紹介する。

【会期】令和4年7月23日～9月30日

#### 【関連企画】

- ・ミュージアムトーク「真崎浦のナゾ」(令和4年9月18日 講師：林恵子氏)
- ・講演会「真崎浦の干拓の歴史」(令和4年9月11日 講師：河本紀久雄氏)

#### (2) 秋季企画展「帰ってきた！東海村時空マップ～時の旅人～」

東海村の地図の上に乗ると、センサーが反応し高速スピードで映像が動いたり、昔の写真やみんなが書いた未来の絵が出てきます。

【会期】令和4年10月8日～令和4年11月27日

#### (3) 冬季企画展「東海村の人物はにわ図鑑」

図鑑の1ページを切り取ったような展示構成を通して、個性豊かな人物埴輪たちの魅力や特徴を紹介する。

【会期】令和4年12月23日～令和5年3月5日

#### 【関連企画】

- ・東海村のハニワ総選挙
- ・講演会「海の新墳の被葬者にせまる」(令和5年1月7日 講師：稲田健一氏)
- ・「古墳巡り－須和間古墳群－」(令和5年1月15日 講師：中泉雄太氏)
- ・「古墳巡り－舟塚古墳群－」(令和5年1月22日 講師：中泉雄太氏)

#### (4) 春季企画展「照沼家文書の世界－山横目のしあわせ－」

照沼家文書を通して山横目の役割を紹介するとともに、国登録文化財「照沼家住宅」を紹介する。

【会期】令和5年3月21日～令和5年5月7日

#### 【関連企画】

- ・「YAMAME」に密告
- ・古文書講座「江戸時代の〈ボリス〉」(令和5年4月15日、講師：高増慧氏)

【写真】追加予定

### 4 展示解説

#### (1) 展示解説の実施

開館記念イベントの一環として劇場型展示解説を実施したほか、展示室1・2の展示解説に加え、各回で異なるテーマを設けて定期的の実施した。また、団体見学等において、希望に応じて随時実施した。

実施日	内容	参加者数
7月25日、8月1日、15日	劇場型展示解説「タイムトラベルツアー☆」	140
12月5日	展示解説ツアー（自然編）	3

8月4日	展示解説ツアー（化石）・交流館バックヤードツアー	107
9月18日	展示解説 絵図から見る真崎浦の干拓	15
2月11日	展示解説 東海村の人物はにわ図鑑	15
4月29日	展示解説 照沼家文書の世界	10

## （２）展示ガイドの発行

展示全体の概要を伝える「展示ガイド」及び展示の物語ごとに作成した展示リーフレットを発行した。リーフレットは集めることで来館者がオリジナルの図録としてコレクションできる仕組みとしている。

## （３）ポケット学芸員の導入

展示を補完する仕組みとして、ポケット学芸員を導入。展示室１・２の展示に計３１箇所の説明ポイントを設置。英語解説も掲載。

「ポケット学芸員」は、ミュージアムなどの展示をはじめとするさまざまな情報を案内するアプリです。展示の概要、文化財の写真などの際にお楽しみください。対象物につけられている番号を入力すると、テキストや音声、画像や動画で解説や関連情報を得ることができます。得られる情報の種類は、図によって異なります。

イラストのキャラクター（Hoshino Cammo）

ダウンロードはこちら

Download on the App Store GET IT ON Google Play

公式サイトはこちら

ポケット学芸員 検索

<http://welcome.nagao.ne.jp/pocket>

【サービス運営】  
早稲田システム開発株式会社

ミュージアム展示ガイド

ポケット学芸員

日本のミュージアムもこのアプリひとつで楽しめるように。

早稲田システム開発サンプル博物館

当館で化石発見ツアーにて「ポケット学芸員」をご利用いただけます。

2F 常設展示室

1F 企画展示室

Wi-Fiをご利用いただけます。貸付にもご利用ください。

SSID : wasedamuseum

パスワード : 23456

電話 : 03-1111-1111

[日本語版]

「POCKET CURATOR」は、application which provides the various information about the exhibitions of museum and so on. Please enjoy exhibitions and a tour of cultural heritage. When you input the number assigned on items, you can get information regarding items by text, sound, picture, and animation.

Illustration Cammo

Download here

Download on the App Store GET IT ON Google Play

Official site here

POCKET CURATOR search

<http://welcome.nagao.ne.jp/pocket>

【サービス運営】  
Waseda System Development Co., Ltd.

早稲田システム開発サンプル博物館

当館で化石発見ツアーにて「POCKET CURATOR」をご利用いただけます。

2F 常設展示室

1F 企画展示室

Wi-Fiをご利用いただけます。貸付にもご利用ください。

SSID : wasedamuseum

パスワード : 23456

電話 : 03-1111-1111

[英語版]

Notice

- Copyright of pictures, sounds, movies, interpretive explanation and data which appears on "POCKET CURATOR" belongs to the facilities with which information is provided. The application user is only allowed to use this information for personal use.
- "POCKET CURATOR" works through the internet. So, please use it in an environment where internet is available.
- When you use "POCKET CURATOR" in a public place, please use earphones or be careful of the volume in order not to bother other people.

## Ⅲ 教育普及

### 1 学校連携事業（ジョイント授業）

学習指導要領における学習のねらいを踏まえて、総合学習や社会科の授業において、ふるさとの歴史や地域資源、環境に興味・関心を深められるよう、展示・収蔵品や体験事業を活用した学習プランや学習教材を提供し、村内小中学校の教育活動との連携を図っている。

令和4年度実施一覧 全26回／延べ1,523名

実施日	学校名	単元・実施内容	参加者数
6月1日	中丸小学校	総合「未来につなごう！わたしたちの自然と環境」	103
6月2日	照沼小学校	理科「野鳥観察会」	18
6月7日	村松小学校	総合「村松小学校の環境政策課になろう」	63
6月8日	中丸小学校	総合「未来につなごう！わたしたちの自然と環境」	103
6月21日	舟石川小学校	社会「歴史博物館へ行こう、縄文の国から古墳の国へ」	96
6月30日	石神小学校	総合「共に生きよう地域社会の一員（東海の歴史）」	46
7月6日	村松小学校	社会「縄文時代をのぞいてみよう」	47
7月15日	石神小学校	総合「ぼくたち、わたしたちのエコライフ」	43
9月21日	石神小学校	総合「共に生きよう地域社会の一員」～石神城解説～	46
9月22日	照沼小学校	理科「水生生物観察会」	20
10月7日	村松小学校	総合「村松小学校の環境政策課になろう」秋	63
10月13日	中丸小学校	総合「まち探検」	10
10月14日	石神小学校	総合「ぼくたち、わたしたちのエコライフ」自然観察	103
10月14日	白方小学校	総合「歴史発見東海村」①	85
10月19日	照沼小学校	総合「まち探検」照沼家住宅	14
10月21日	白方小学校	総合「歴史発見東海村」②交流館訪問	85
10月26日	中丸小学校	生活「あきとあそぼう」	97
10月27日	中丸小学校	総合「未来につなごう！わたしたちの自然と環境」	105
10月28日	中丸小学校	総合「身近な施設について学ぼう」	24
10月28日	照沼小学校	総合「照沼家住宅」	21
11月2日	村松小学校	総合「職場体験」	4
11月11日	舟石川小学校	総合「環境学習」広瀬先生講話	85
11月29日	舟石川小学校	総合「環境学習」船場稲荷神社	85
1月13日	中丸小学校	総合「むかしあそびをしよう」はにわぬり絵&かるた取り	97
1月18日	照沼小学校	総合「むかしあそびをしよう」はにわぬり絵&かるた取り	13
2月7日	村松小学校	太平洋戦争体験者の話	47
全26回			参加者数合計 1,523

## 2 とうかいまるごと博物館事業

38 km<sup>2</sup>というコンパクトな面積の中に城跡や古墳、海や川など多くの歴史や自然を語るものが存在する東海村の特徴を活かし、村内全域を博物館として捉え、東海村全体をまるごと体験し・遊び・学ぶことで、郷土への理解を促進し、郷土愛を醸成する。

○村内住民活動団体や企業などの様々な主体と連携し、講座やフィールドワーク、体験などのプログラムを提供。

○東海村を研究する「東海村歴史と未来の交流館研究員（通称：まる博研究員）」の養成（人材育成）。  
村内在住・在勤の高校生以上から募集し、養成講座・専門講座を実施。

### ◆令和4年度講座等一覧 107 講座／延べ参加者 17,319 名

No.	講座等名	期日	参加者数	活動団体
交流館主催講座等 49 講座				
【展示・まる博マルシェ関連ほか】33 講座				
1	春のがっちゃんこまつり	4 月 29 日	379	生涯学習課
2	とうかい子どもキャンパス 村松小ビオトープや敷地内の植物や昆虫を観察しよう！	7 月 23 日	28	生涯学習課
3	ホタル観察会①	6 月 25 日	40	生涯学習課
4	ホタル観察会②	7 月 2 日	30	生涯学習課
5	魅力あふれるコケの世界	7 月 10 日	30	生涯学習課
6	初めての古文書講座 1	7 月 16 日	20	生涯学習課
7	巨大ワラ人形―大助人形をつくろう―	8 月 3 日	15	生涯学習課
8	ミュージアムトーク 進化のふしぎ ポケモンは実は「進化」していない？！	8 月 6 日	1	生涯学習課
9	とうかい子どもキャンパス 白方小ビオトープや敷地内の植物や昆虫を観察しよう！	8 月 6 日	27	生涯学習課
10	とうかい子どもキャンパス のぶちゃん先生の「けんび鏡」の名人になってミクロの世界を見てみよう	8 月 9 日	20	生涯学習課
11	とうかい子どもキャンパス のぶちゃん先生の「けんび鏡」の名人になってミクロの世界を見てみよう	8 月 10 日	18	生涯学習課
12	シェリーとビーチコーミング	8 月 11 日	13	生涯学習課
13	化石クリーニングライブ	8 月 16 日	11	生涯学習課
14	古代の真崎を冒険しよう―火起こしと古墳巡り―	7 月 30 日	50	生涯学習課/（協力：真崎の未来を考える会）
15	東海村の川の魚たち	8 月 21 日	30	生涯学習課
16	石神城探検	8 月 21 日	14	生涯学習課
17	真崎浦の干拓の歴史	9 月 11 日	32	生涯学習課
18	交流館 de 文化祭	10 月 8 日	—	生涯学習課
19	オオヒシクイを未来に残そう稲敷の空	10 月 9 日	7	生涯学習課
20	脱穀体験	10 月 10 日	27	生涯学習課
21	ミュージアムトーク 生活用具と植物名	10 月 29 日	6	生涯学習課
22	解明するシリーズ 1：石神小野崎氏と石神城	11 月 13 日	60	生涯学習課

23	解明するシリーズ2：真崎氏と天神山城	11月20日	60	生涯学習課
24	解明するシリーズ3：白方氏と白方城を解明する	11月27日	60	生涯学習課
25	東海村の埴輪図鑑	12月17日	—	生涯学習課
26	海のお墓の被葬者にせまる	1月7日	40	生涯学習課
27	バックヤードツアー	1月7日	10	生涯学習課
28	郷土カルタ大会	1月14日	20	生涯学習課
29	古墳巡りー須和間古墳群ー	1月15日	23	生涯学習課
30	古墳巡りー舟塚古墳群ー	1月22日	26	生涯学習課
31	展示解説 東海村の埴輪図鑑	2月11日	15	生涯学習課
32	久自国造について	2月19日	33	生涯学習課
33	照沼家文書の世界	3月25日～ 5月7日	—	生涯学習課
<b>【展示解説ツアー・バックヤードツアー】3講座</b>				
34	バックヤードツアー	5月3日	15	生涯学習課
35	展示解説ツアー（化石）・交流館バックヤードツアー	8月4日	107	生涯学習課
36	バックヤードツアー・展示解説（全体）	10月10日	15	生涯学習課
<b>【博物館長講座】13講座</b>				
37	博物館長と歩く植物観察会「桜とスマイル」	4月16日	7	生涯学習課
38	博物館長と歩く植物観察会「久慈川沿いの外来植物」	5月21日	6	生涯学習課
39	博物館長と歩く植物観察会「海浜植物」	6月18日	8	生涯学習課
40	博物館長と歩く植物観察会「水田雑草」	7月9日	7	生涯学習課
41	石橋駅はどこにあるのかー古代官道のナゾに迫るー	6月19日	11	生涯学習課
42	博物館長と歩く植物観察会「ため池の植物」	8月20日	10	生涯学習課
43	博物館長と歩く植物観察会「虫こぶの観察」	9月17日	13	生涯学習課
44	博物館長と歩く植物観察会「土手斜面の植物」	10月15日	11	生涯学習課
45	博物館長と歩く植物観察会「身近な植物の実とタネ」	11月19日	18	生涯学習課
46	博物館長と歩く植物観察会「紅葉する樹木」	12月17日	11	生涯学習課
47	博物館長と歩く植物観察会「樹皮と冬芽で樹木を見分ける」	1月21日	16	生涯学習課
48	博物館長と歩く植物観察会「冬越しする植物」	2月18日	18	生涯学習課
49	博物館長と歩く植物観察会「ヒノキ林内のシダの芽生え」	3月18日	10	生涯学習課
<b>協力団体主催講座 46講座</b>				
50	磯の生き物観察会	5月15日	60	環境調べ隊
51	昼の雑木林の虫の観察会	7月24日	40	環境調べ隊
52	虫博士	7月27日	50	環境調べ隊

53	夜の雑木林の虫の観察会	7月30日	30	環境調べ隊
54	勾玉を作ろう	8月5日	60	環境調べ隊
55	夏の天体観測会	8月20日	30	環境調べ隊
56	キノコ観察会	10月1日	50	環境調べ隊
57	天体観測会	11月27日	40	環境調べ隊
58	探鳥会	12月11日	40	環境調べ隊
59	探鳥会	1月15日	30	環境調べ隊
60	探鳥会	2月5日	45	環境調べ隊
61	大強度陽子加速器施設 J-PARC で探る宇宙と物質のなぞ	4月22日	28	J-PARCセンター
62	大強度ビームの省エネ加速	5月27日	22	J-PARCセンター
63	3館スタンプラリー	6月1日～ 6月30日	206	げんでん東海原子力館別館/ (公社)茨城原子力協議会/ 生涯学習課
64	加速器を使ったがん治療 (BNCT)	6月24日	50	J-PARCセンター
65	げんでんスマイルフェア	7月16日	539	日本原子力発電 (株)
66	夏休みスタンプラリー	7月23日	500	げんでん東海原子力館別館/ (公社)茨城原子力協議会
67	巨大な分子の形と動き	7月29日	21	J-PARCセンター
68	放射線測定体験	8月2日～ 8月5日	343	(公社)茨城原子力協議会
69	アインシュタインスクール シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」	9月7日	33	(公社)茨城原子力協議会
70	写真フィルムで素粒子“ニュートリノ”と宇宙の謎を研究する	8月27日	8	J-PARCセンター
71	茨城県装置 iBIX で何ができる？	9月30日	27	J-PARCセンター
72	東海村の大地をめぐる 大地の成立ちとふれあいツアー	10月1日	40	NPO 法人いばらき TU・ NA・GUジオ
73	アインシュタインスクール シリーズ「放射線・原子力の基礎講座」	10月8日	38	(公社)茨城原子力協議会
74	ミューオンで探る宇宙の謎	10月28日	30	J-PARCセンター
75	続・宇宙にあるのか“ハイパー原子核”	11月25日	24	J-PARCセンター
76	企画展「宇宙をさわる」	12月6日～ 1月15日	1,844	(公社)茨城原子力協議会
77	クリスマスイベント	12月10日 12月11日	482	(公社)茨城原子力協議会
78	げんでんウィンターフェア	12月17日 12月18日	568	日本原子力発電(株)
79	冬の星座と惑星のお話&観察会	12月18日	62	(公社)茨城原子力協議会
80	素粒子の作る匠の技	12月23日	23	J-PARCセンター
81	親子星空観望会&ナイトミュージアム	1月6日	42	(公社)茨城原子力協議会
82	いばらき県北の魅力再発見！茨城県北の大地と地域発展の足跡展	1月24日～ 2月4日	—	NPO 法人いばらき TU・ NA・GUジオ
83	加速器で働く超伝導電磁石	1月27日	22	J-PARCセンター
84	茨城県北の大地の成立ちから東海村の自然を見直してみよう	1月29日	40	NPO 法人いばらき TU・ NA・GUジオ

85	企画展「はやぶさ2のミッションにチャレンジ！」	2月10日～ 3月26日	3660	(公社)茨城原子力協議会
86	バレンタインイベント	2月11日 2月12日	564	(公社)茨城原子力協議会
87	親子星空観望会&ナイトミュージアム	2月17日	41	(公社)茨城原子力協議会
88	“まこと”の“から”を目指す真空の物語	2月24日	32	J-PARCセンター
89	げんでん春のぼかぼかテラちゃんフェア	2月25日 2月26日	453	日本原子力発電(株)
90	リニューアルオープニングイベント	3月4日 3月5日	478	(公社)茨城原子力協議会
91	おはなし「地球や惑星の誕生をさぐる！」	3月5日	68	(公社)茨城原子力協議会
92	超伝導加速空洞開発@J-PARC	3月24日	26	J-PARCセンター
93	毎日クイズラリー	通年	—	(公社)茨城原子力協議会
94	科学館カタカナラリー	通年	—	(公社)茨城原子力協議会
95	来て、見て、知って！げんでん東海原子力館別館は楽しいことがいっぱい	通年	4,902	日本原子力発電(株)
行政（生涯学習課を除く）主催講座 12講座（うち2講座中止）				
96	みんなですこやかウォーキング「白方 桜薫る田園コース」	4月8日	22	健康増進課
97	みんなですこやかウォーキング「ふれあいの森から深緑のコース」	5月6日	24	健康増進課
98	みんなですこやかウォーキング「石神 歴史ロマンの道コース」	6月3日	24	健康増進課
99	みんなですこやかウォーキング「総合福祉センター「絆」周回ヘルスロードコース」	9月2日	中止	健康増進課
100	みんなですこやかウォーキング「中丸 パワースポットと芋葉をめぐるコース」	10月7日	中止	健康増進課
101	親子ウォーク☆まる博☆どんな木の実があるのかな？歩きながら見つけよう！	11月27日	14	健康増進課/生涯学習課
102	ミュージアムトーク 真崎浦のナゾ	9月18日	15	生涯学習課
103	みんなですこやかウォーキング「真崎 いちようとはなみずきの並木通りコース」	11月4日	22	健康増進課
104	みんなですこやかウォーキング「押延・天神山 水と緑の里山コース」	12月2日	19	健康増進課
105	みんなですこやかウォーキング「阿漕ヶ浦・虚空蔵堂コース」	1月6日	20	健康増進課
106	みんなですこやかウォーキング「舟石川 まほろばの里と近隣公園コース」	2月3日	18	健康増進課
107	みんなですこやかウォーキング「総合福祉センター絆 周回ヘルスロードDコース」	3月3日	22	健康増進課
参加者数計			17,319	

## ○専門講座

「東海村の遺跡調査団・縄文時代の石材調査・メノウ編」「博物館長と歩く観察会～東海村の植物図鑑を作ろう」「古文書調査隊」



### 3 とうかい子どもキャンパス事業

村内在住の小中学生を対象に、科学実験や工作、野外活動やスポーツなど、幅広い分野でふるさとの資源について学び、地域資源の再発見や村への誇り、自己発見のきっかけづくりの取り組みを行っている。

実施日	事業名	参加者数	内容
6月4日	のぶちゃん先生の親子サイエンス	18	浮沈子おもちゃづくり
6月11日/ 25日	ペットボトルロケット	37	ペットボトル制作と発射実験
6月18日	サイエンスショー（当日受付）	15	空気をテーマとしたショー
7月2日	のぶちゃん先生の理科ちゃん教室	12	化学電池と燃料電池の違いとは
7月9日	バルーンアート教室中級	3	複数のバルーンを組み合わせてバルーンアートを作成
7月16日	のぶちゃん先生のくわしくはWEBで	0	三角比を使って高さを求める
7月2日/ 16日/26日	ボタニカルアート教室 （全3回シリーズ）	23	村の花である「スカシユリ」を描く
7月3日/ 17日/31日	プログラミング教室（3回シリーズ）	35	Scratchを使ったプログラミング教室
7月23日	村松小自然観察会	28	校庭やビオトープの観察
8月2日/ 18日	科学作品展相談会	1	夏休みの宿題の相談会
8月6日	白方小自然観察会	27	白方小から白方公園の間を自然観察
8月9日	のぶちゃん先生の顕微鏡名人になろう	20	顕微鏡の使い方学習や観察
8月10日	のぶちゃん先生の顕微鏡名人になろう	18	顕微鏡の使い方学習や観察
8月21日	高校生会のバルーンアート教室	17	イヌやネズミなど簡単なバルーンアートを制作
10月1日	放射線検出器で宝探しゲーム	11	放射線検出器を利用してガチャカプセルの中に入った、ランタンマントルを測定。マントルが大きいほど線量が高い
10月2日/ 10月16日/ 11月6日	プログラミング教室（3回シリーズ）	16	Scratchを使ったプログラミング教室
10月8日	のぶちゃん先生の親子理科教室	20	プラ板の制作
10月9日/ 10月23日/ 11月13日/ 12月11日	番組制作体験	18	J-WAYと一緒に番組を制作。イベントレポートやアナウンサーカメラマン体験、本社見学
10月15日	のぶちゃん先生の理科ちゃん教室	10	電磁石実験やモーター制作
11月3日	ツリークライミング体験	30	交流館シンボルツリーに登る
11月5日	のぶちゃん先生の詳しくはWEBで	1	微小生物を顕微鏡で観察
11月12日	陶芸体験教室	27	ハニワ型貯金箱の制作
11月19日	のぶちゃん先生の親子理科教室	14	親子で化学カイロ製作
11月26日	おうち模型でまちづくり	23	茨城県建築士会の協力のもと東海村の未来を空き箱などで街並みを創造する
12月3日	のぶちゃん先生の理科ちゃん教室	15	電磁石やりニアモーターカーのミニ実験
12月4日	ミニクリスマスツリー制作	23	松ぼっくりやドングリなどを使ってクリスマスリースづくり

12月10日	大学生と遊ぼう	21	謎解きゲームやリースづくり
12月10日	のぶちゃん先生のくわしくはWEBで	1	理科と算数はなかよし？
12月17日	低学年のためのプログラミング教室	20	Scratchを使ったプログラミング教室
12月18日	低学年のためのプログラミング教室	20	Scratchを使ったプログラミング教室
1月21日	のぶちゃん先生の親子理科教室	15	白熱電球とLED電球の違いを実験で解き明かす
1月22日/ 2月5日	マイクロビット講座	32	Scratchとマイクロビットを組み合わせてモーターなどを動かす実践講座
1月28日	バレンタイン&ホワイトデーハーバリウム	16	バレンタインデーやホワイトデーをイメージしたハーバリウム制作する
2月11日	のぶちゃん先生のくわしくはWEBで	0	東海村と円周率
2月18日	コルクボードでおしゃれインテリア制作	12	コルクボードに自然物を飾り付けてオリジナル作品を制作
3月11日	のぶちゃん先生の自然観察会	7	絆北川緑地や中丸小下の田んぼを観察
3月25日	バルーンアート教室	15	チューリップやイヌなどを制作するバルーンアート教室
2月26日	芸術鑑賞会	35	未就学児対象の人形劇鑑賞会
全 38 講座 参加者数合計		652	



番組製作体験



ペットボトルロケット製作&発射実験



## 【写真】追加予定

## IV 交流事業・施設活用

### 1 にぎわいづくり事業

村民団体や民間事業者等の様々な主体と連携し、人と人、人とモノの交流や、にぎわいの創出を生む事業を行っている。

#### 【主催事業】

期日	事業名	参加者数	内容
4月26日～ 5月8日	交流館こいのぼり チャレンジ	村内小学校 新一年生	村内小学校新1年生が塗ったこいのぼり塗り絵を 交流館に展示
4月29日	交流館春イベント 「がっちゃんこ祭り」	379	交流館・図書館・中央公民館を会場として、科学 実験やモノづくり、ニュースポーツ体験など様々 な活動を体験できるイベント

#### 【共同事業】

期日	事業名	参加者数	内容
6月11日	ふるさと体験教室 (青少年育成東海村民会 議)	14	屋外交流広場での「交流館 DE 植物観察」及び館内 「バックヤードツアー」を実施。
8月20日	子どもみこしお披露目会 (東海村子ども会育成連 合会事業)	7単位子ども会	東海まつり中止に伴い、屋外交流広場で手作りみ こしのパレードを実施。
11月12日 13日	第39回東海やったん祭 (東海やったん祭実行委 員会)	976 (2日間合計)	青少年のお祭りとして続いてきた「東海やったん 祭」を開催。青少年団体による文字さがし、なぞと き&缶くずし、迷路、むかしあそび体験など。
1月14日	東海村郷里(ふるさと)か るた DAY (東海村子ども会育成連 合会事業)	22	東海村郷里(ふるさと)かるたの原画展示期間中 に、交流スペースで原画の解説及びかるたとり体 験を実施。
2月25日	ふるさと体験教室 (青少年育成東海村民会 議事業)	13	「防災ワークショップ」を実施。

### 2 交流事業（関連団体利用）

施設のテーマである「歴史」・「未来」・「交流」を基に、多世代の交流の展開や多様な主体の参画による運営を目的に、公益性の高い事業を団体と連携して実施している。

期日	事業名	内容
11月19日 ～2月18日	TOKAI"make a wish"ILLUMINATION2022 (東海村商工会青年部主催)	交流館敷地内にシンボルとなる構造物を設置 し、イルミネーションで飾りつけて点灯。初日 に点灯式を開催。

### 3 視察等受入

令和4年度に受け入れした視察等は以下のとおり。※村内小中学校ジョイント授業を除く

No.	期日	団体名	参加者数	内容
1	4月20日	自然のみどり守る会	10	体験型講座
2	6月11日	日立市久慈中学校	104	施設見学、体験型講座

3	6月14日	常陸太田市文化財保護審議会	11	施設見学
4	7月15日	茨城県高等学校教育研究会国語部	20	展示解説
5	8月1日	東海村教育研究会	30	展示解説、体験型講座
6	8月9日	芳賀郡市文化財保護審議会連絡協議会	20	施設見学、展示解説
7	8月9日 /10日	東海村中丸学童クラブ	64	施設見学、展示解説
8	8月25日	スマイルさくらんぼ	17	体験型講座
9	8月28日	ひたち太田生物友の会	15	施設見学、展示解説
10	9月3日	一般社団法人茨城県建築士事務所協会	40	施設見学
11	10月8日	南台ふれ合い協力委員	40	施設見学、展示解説
12	11月1日	東海村岡区自治会	15	施設見学、展示解説
13	11月8日	サロン虹の会	18	施設見学、展示解説
14	11月17日	東海村小中学校 PTA 連絡協議会	40	施設見学、展示解説
15	12月16日	日立市久慈川三育小学校	14	展示解説、体験型講座
16	12月23日	東海村教育友の会	13	施設見学、展示解説
17	2月4日/ 16日	東海村自然倶楽部	20	体験型講座
18	3月2日	民生委員・児童委員協議会（白方学区）	13	施設見学、展示解説
19	3月17日	那珂市文化財愛護協会	20	施設見学、展示解説
参加者数合計			524	



子どもみこし



イルミネーション

# V 情報発信・広報

## 1 情報発信・広報ツール

東海村公式ホームページや広報とうかい、SNS（Facebook、Twitter）等で、参加募集や事業紹介などの様々な情報発信を行っている。

### （１） SNS 発信

Facebook（東海村ご当地レポーター）フォロワー数	1,558
Twitter（歴史と未来の交流館）フォロワー数	417

（令和５年３月３１日現在）

### （２） 広報とうかい掲載

掲載号【番号】	内容
６月２５日号【No.363】	「ふるさと歴訪」 トウカイクジラ、凱旋（野田美智子）
８月１０日号【No.930】	開館１周年記念イベント
１０月２５日号【No.367】	「ふるさと歴訪」 古老の伝承「上の川」は本当にあるのか（林 恵子）
１２月２５日号【No.369】	「ふるさと歴訪」 小さな石の故郷を求めて（中泉雄太）

## 2 発行物

令和４年度中に交流館（生涯学習課）で発行した刊行物は以下のとおり。

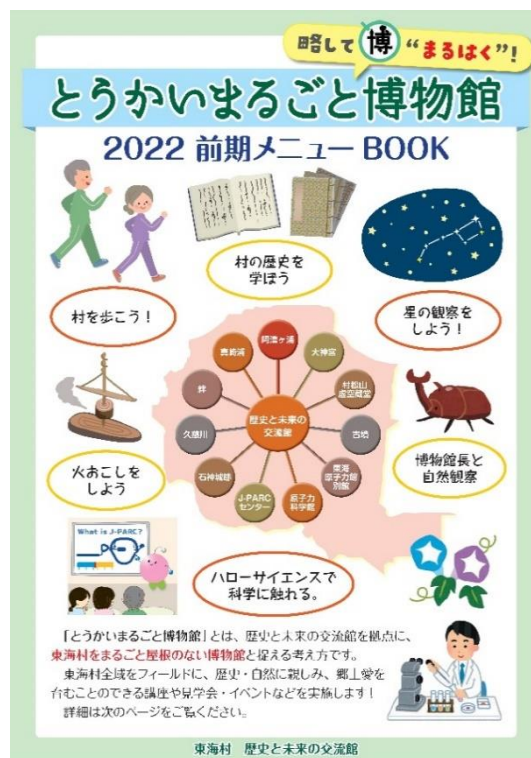
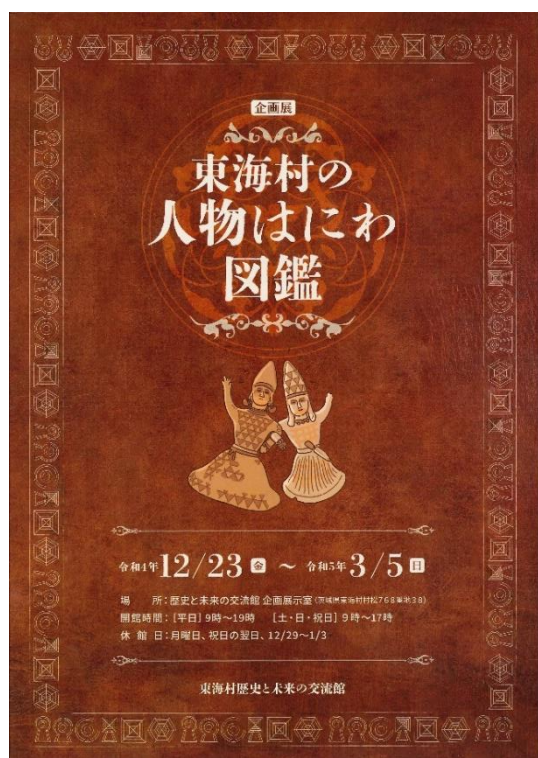
発行月	冊子名	発行部数	内容
５月	とうかい子どもキャンパス夏編 6-8月講座一覧表	3,200	とうかい子どもキャンパス 6-8月講座一覧表
６月	とうかいまるとと博物館リーフレット（前期）	3,000	とうかいまるとと博物館事業講座参加者募集リーフレット
７月	令和４年度夏季マルシェ図録	300	化石から探る東海海底 300 万年図録
７月	令和４年度夏季企画展図録	300	絵図から見る真崎浦の干拓図録
９月	とうかい子どもキャンパス秋編 10・11月講座一覧表	3,200	とうかい子どもキャンパス 10・11月講座一覧表
10月	とうかいまるとと博物館リーフレット（後期）	3,000	とうかいまるとと博物館事業講座参加者募集リーフレット
10月	秋季展示リーフレット	500	文化祭 50 周年記念図録
11月	とうかい子どもキャンパス冬編 (12～1月) 講座一覧表	3,200	とうかい子どもキャンパス 12～1月講座一覧表
11月	令和４年度冬季企画展図録	300	東海村の人物はにわ図鑑図録
11月	令和４年度冬季マルシェリーフレット	3,000	とうかい古墳ウォーカー
1月	とうかい子どもキャンパス冬編 2弾（2月～3月）講座一覧表	3,200	とうかい子どもキャンパス 2～3月講座一覧表
3月	春季企画展図録	300	照沼家文書の世界図録
3月	まる博ジャーナル 2023 Vol.3	3,000	とうかいまるとと博物館事業の活動報告
3月	歴史と未来の交流館研究紀要 Vol.3	300	交流館学芸員の調査研究報告書
3月	令和３年度東海村内遺跡発掘調査報告書	300	令和３年度調査・令和４年度整理作業を行った村内遺跡調査報告書
3月	東海村自然誌マップ	3,000	自然誌マップの増刷



### 3 メディア掲載

本施設の活動等について、新聞・雑誌等からの取材依頼があり、以下の紙面等に掲載された。

掲載年月	掲載紙	内容
令和４年４月	茨城こども新聞	化石紹介
令和４年５月	JWAY	がっちゃんこ祭り紹介
令和４年８月	NHK	大助人形作り紹介
令和４年８月	茨城新聞	大助人形作り紹介
令和４年８月	JWAY	大助人形作り紹介
令和４年９月	JWAY	ニュースポーツ紹介
令和４年１０月	よみうりタウンニュース	脱穀体験紹介
令和４年１２月	JWAY	番組製作体験完成作品放送
令和５年１月	JWAY	東海村のハニワ総選挙紹介
令和５年１月	よみうりタウンニュース	東海村の人物はにわ図鑑紹介
令和５年１月～３月	JWAY マガジン 28	とうかい子どもキャンパス事業紹介
令和５年３月	東京新聞	戸ノ内古墳発掘紹介
令和５年３月	産経新聞	戸ノ内古墳発掘紹介
令和５年３月	JWAY	高校生会からの挑戦状



# VI 文化財

## 1 資料の収集（令和4年度新規収蔵資料）

### （1）寄贈資料

分類	資料名	点数	寄贈者（敬称略）
民俗	民具一式（堤重箱、御櫃ほか）	一式	個人
考古	考古学資料（土星勾玉、土師器ほか）	一式	吉沼 正幸
民俗	民具一式（御櫃、蓑ほか）	一式	竹内 愛行
民俗 歴史	ガラス乾板、瓦、古地図ほか	一式	齋藤 武彦
考古	舟塚古墳群 1 号墳出土人物埴輪写真	1 点	佐藤 義文
図書	図書	485 冊	塚本 敏夫
民俗	ウツボ（小）、ウツボ（大）	各 2 点	個人
民俗	徳利（大）、徳利（小）火鉢、馬鋤、石臼	各 1 点	三浦 輝男
民俗	鍬類、蔵書ほか	一式	個人
自然	タガイ	1 点	川崎 卓男
自然	化石	74 点	菊池 芳文
民俗	掛軸、羽子板、ひな人形ほか	一式	藤田 美子
民俗	炭俵	10	入江 元
民俗	蓄音機、レコード、カメラ	一式	個人
自然	クジラの歯、軽石	一式	反田 孝美
図書	茨城の文化財 第 21 集ほか	12 冊	個人
自然	標本	一式	吉武 和次郎
民俗	機織機	一式	酒井 孝子
民俗	写真	一式	鈴木 幸子
図書	前方後円墳の築造と儀礼、霞ヶ浦の古墳時代 内海・交流・王権	2	個人

### （2）収集資料（寄贈・寄託・購入を除く新規収蔵資料）

分類	資料名	点数
考古	村内遺跡発掘調査出土品	テン箱 21 箱
考古	表採資料（試掘調査ほか）	テン箱 1 箱分

## 2 資料の特別利用

交流館収蔵資料の令和4年度特別利用は以下のとおり。

利用資料	利用区分	利用目的	利用期間	利用申請者
駅名標	貸出	イベント開催に伴う展示	令和5年1月19日～ 令和5年1月30日	株式会社 JR 東日本ス テーションサービス 水戸駅務管区
石神城跡縄張図	貸出	「常陽藝文」2023年 3月号掲載	令和5年1月30日～	公益財団法人 常陽 藝文センター

### 3 保存・管理

#### (1) 資料の保存処理・修繕等

資料名	内容	備考
戸ノ内古墳埴輪・舟塚古墳群埴輪接合	修復	

#### (2) 有害生物管理の実施

##### ① 受入れ資料の燻蒸<sup>くんじょう</sup>

###### ・被覆燻蒸

館内トラックヤードで殺虫，殺卵，殺カビのため，ガス薬剤（アルプ）を用いて実施。

実施日：令和4年9月13日～9月16日

###### ・燻蒸庫燻蒸

燻蒸業者が所有する燻蒸庫に対象文化財を搬送し，殺虫，殺卵，殺カビのため，ガス薬剤（アルプ）を用いて実施。

実施日：令和4年5月30日～6月3日、令和5年1月16日～1月20日

令和5年2月6日～2月10日、令和5年3月6日～3月10日

##### ② 有害生物調査

文化財害虫・真菌類の生物環境及び空気環境の調査，分析。

###### ・実施期間：令和4年4月～令和5年3月

###### ・館内69箇所設置のトラップによる文化財害虫の生息調査を実施。浮遊塵埃測定を用いた清浄度確認。空中浮遊菌・付着菌測定によるカビ調査。北川式検知管法による空気環境測定。

#### (3) 史跡等管理

村（生涯学習課）が管理する史跡は以下のとおり。うち，委託等により令和3年度に除草作業等を実施したものは表のとおり。

##### ■生涯学習課管理史跡

石神城跡，舟塚古墳群2号墳，権現山古墳，真崎古墳群，下ノ諏訪古墳群，真崎浦干拓事業舟着場跡，一里塚

##### ■令和4年度維持管理

史跡等	内容
石神城跡	石神城址公園維持管理（通年），堀内倒竹処分，下草刈，倒木処理，竹伐採
舟塚古墳群2号墳	除草（2回），樹木枝打ち
権現山古墳	樹木枝打ち
真崎浦舟着場跡	下草刈，枯れ木伐採
真崎古墳群	倒木撤去



#### (4) 指定文化財等保護管理費補助

村内の国登録有形文化財・県指定文化財・村指定文化財所有者が行う保護・修繕事業への補助及び奨励金支給。

対象文化財	内容	補助金額
村指定有形文化財・木造阿弥陀如来立像（願船寺）	村指定文化財木造阿弥陀立像修復	1,000,000 円
県指定文化財・村指定文化財・国登録有形文化財	文化財保護奨励金 12 件	216,000 円

## 4 調査・研究

### (1) 交流館研究紀要の刊行

〔目次〕

- ・(仮) 東海村内遺跡出土瑪瑙製石器の産地解明 (1) 中泉 雄太・林 恵子・菊池 芳文
- ・村民の記憶 林 恵子
- ・亀下村佐藤与惣衛門家の家訓書 高増 慧

### (2) 収蔵資料等の調査・整理

分野	担当者	内容と成果
歴史	林 恵子 高増 慧	収蔵古文書を整理・目録作成・調査研究し、村内各機関に所蔵の古文書調査の実施要項を改訂し、調査を開始した。夏季企画展「真崎浦の干拓」、春期企画展「照沼家文書の世界 -山横目のしあわせ-」の調査。
民俗	林 恵子	寄贈資料の整理、燻蒸し資料の保全に努めた。 まる博マルシェ「昔の暮らし」展示品の調査。
考古	中泉 雄太 林 恵子	令和 3 年度実施埋蔵文化財調査の出土品整理、報告書刊行。 令和 3 年度実施戸ノ内古墳・舟塚古墳群調査における出土埴輪の接合・復元・実測・写真撮影・観察等の整理を委託し実施した。 東海村内遺跡出土の瑪瑙製石器の産地調査 令和 4 年度冬季企画展「東海村の人物はにわ図鑑」展示品の調査。
自然	野田 美智子 林 恵子	村内における化石資料の採集、整理。まる博マルシェ「化石から探る東海海底 300 万年」 村のクロマツについて中学生自由研究の補助。 オオメガサソウの生態調査
情報	林 恵子 野田 美智子 川崎 大輔	所蔵図書を整理・分類し、郷土研究室に配架。 収蔵品データベースシステムに収蔵資料を登録（クラウド型）、一元的な管理・検索ができる仕組みを管理した。

## 5 指定文化財等一覧

(令和 5 年 5 月 1 日現在)

### (1) 国登録有形文化財

名称	数量	登録番号	登録年月日	所有者	所在地
てるぬまけじゅうたくおもや 照沼家住宅主屋	1 棟	08-222 号	平成19年7月31日	個人	照沼 23

(2) 県指定文化財

種別	名称	数量	指定番号	指定年月日	所有者・管理者	所在地
有形文化財	考古資料 じんぶつはにわ 人物埴輪	1 軀	考第 14 号	平成 6 年 1 月 26 日	東海村	村松 768-38
	同 ほっこめ いせき しゅつどうぎょくせい 堀米 A 遺跡出土 硬玉 製 たいしゆ 大珠	5	考第 32 号	令和 4 年 12 月 26 日	同	同
	絵画 けんぽんちゃくしよくしょうとくたいしえでん 絹本着色聖徳太子絵伝	1 幅	絵第 76 号	平成 18 年 11 月 16 日	願船寺	石神外宿 1047
記念物	史跡 いしがみじょうあと 石神城跡	1	史第 41 号	平成 29 年 12 月 25 日	東海村	石神内宿 本城 1244 他

(3) 村指定文化財

種別	名称	数量	指定番号	指定年月日	所有者・管理者	所在地
有形文化財	考古資料 ちよくとう みわだま 直刀 および三輪玉	直刀 1 三輪玉 8	第 2 号	昭和 56 年 2 月 25 日	東海村	村松 768-38
	同 ぶじんはにわ 武人埴輪	1	第 6 号	昭和 59 年 3 月 10 日	同	同
	同 どくう 土偶	1	第 7 号	同	同	同
	同 かまつきいせき しゅつどういぶつ 釜付遺跡出土遺物	手捏土器 77 剣形品 196 有孔円板 126 勾玉 4 白玉 2 青銅製儀鏡 2 鉄刀 1 土師器 55	第 21 号	平成 14 年 7 月 1 日	東海村	同
	同 かき かぶる だんしほにわ 笠を被る男子埴輪	1	第 35 号	令和 4 年 8 月 30 日	東海村	村松 768-38
	同 さんかくきんがたかんむり かぶる ぶじん 三角巾形 冠 を被る武人 はにわ 埴輪	1	第 36 号	令和 4 年 8 月 30 日	東海村	村松 768-38
	歴史資料 じょうしゅうはんだごしよだいじんぐうえんぎ 常州埴田五所大神宮縁起・ はんだじんぐうねんちゅうぎょうじならびにまつしやき 埴田神宮年中行事并未社記	1	第 12 号	昭和 61 年 3 月 5 日	豊受皇大神宮	白方 662-1
	古文書 たけがわら しんでん ならびに はたた に なりちよう 竹瓦新田 並 畠田二成帳	1	第 32 号	令和 4 年 8 月 30 日	個人	竹瓦 289
	同 たけがわらむら たんべつえず 竹瓦村反別絵図	1	第 33 号	同	個人	同
	同 じょうしゅう くじぐん かめしたむら ごけんちちよう 常州久慈郡亀下村御検地帳	2	第 34 号	同	東海村	村松 768-38
	彫刻 もくぞう あ み だ によらいりつぞう 木造阿弥陀如来立像 (旧本尊)	1	第 26 号	平成 27 年 5 月 1 日	願船寺	石神外宿 1047
	同 もくぞう あ み だ によらいりつぞう 木造阿弥陀如来立像 (厨子入り)	1	第 27 号	同	同	同
	同 どうぞう あ み だ によらいりつぞう 銅造阿弥陀如来立像	1	第 28 号	同	同	同

	同	もくぞうしょうとくたいしりつぞう 木造聖徳太子立像	1	第 29 号	同	同	同
	同	もくぞう あ み だ にょらいりつぞう 木造阿弥陀如来立像 (現本尊)	1	第 30 号	同	同	同
	同	もくぞうにょいりんかんのんぎぞう 木造如意輪観音坐像	1	第 31 号	同	如意輪寺	照沼 55
	有形	じゅうおうぞう だつえば 十王像 および奪衣婆	十王像 10 奪衣婆 1	第 8 号	昭和 59 年 3 月 10 日	如意輪寺	照沼 55-1
民俗文化財	同	だんじょぞくたいぎぞう 男女俗体坐像	2	第 9 号	同	同	同
	同	しょうきれいじんえま 鐘馗霊神絵馬	1	第 11 号	同	虚空蔵堂	村松 8
	同	れいげんぼく 霊験木	木片 1 枚 附 銭 53 枚 頭髮少々	第 20 号	平成 6 年 3 月 8 日	同	同
	史跡	ごんげんやま ごふん 権現山古墳	1	第 13 号	昭和 61 年 3 月 5 日	東海村	村松 943-1, 2
記念物	同	べつとうやま ごふん 別当山古墳	1	第 14 号	同	個人	石神外宿 1208-1
	同	みとはつけい むらまつせいらん ひ 水戸八景「村松晴嵐」の碑	1	第 22 号	平成 14 年 7 月 1 日	東海村	村松 135
記念物	同	ふなつかごふんぐん ごうふん 舟塚古墳群 2 号墳	1	第 23 号	平成 20 年 12 月 24 日	個人	村松 1221-8, 1221-9 の一部
	天然 記念物	にょいりんじ じょうりょくしょうようじゅ 如意輪寺の 常緑照葉樹	スダジイ 2 タブノキ 2	第 3 号	昭和 58 年 4 月 20 日	如意輪寺	照沼 54, 57
	同	がんせんじ 願船寺のイチョウ	1	第 4 号	同	願船寺	石神外宿 1047
	同	すみよしじんじゃ 住吉神社のサカキ	1	第 5 号	同	住吉神社	石神外宿 1097
	同	エノキ	1	第 15 号	平成元年 3 月 6 日	個人	石神外宿 429-2
	同	カヤ	1	第 16 号	同	個人	須和間 53-1
	同	モチノキ	1	第 17 号	同	個人	石神内宿 1427
	同	ヤマザクラ	1	第 18 号	同	東海村	村松 943-1

(4) 東海村「ふるさとの自然・文化」登録文化財

登録番号	樹木名	本数	所在地
1	キリシマツツジ	1	村松 727
2	カヤ	2	村松 727
3	キリシマツツジ	1	舟石川 552-5
4	キンモクセイ	1	石神外宿 815
5	石神社のスギ(北側)	1	石神外宿 1
6	石神社のスギ(西側)	1	石神外宿 1
8	サツキ(笑い獅子)	1	石神外宿 815
11	ヤブツバキ	1	石神外宿 815

12	ホウノキ	1	村松 2138
13	ヤマザクラ	1	村松 2012-1
14	スギ(住吉神社)	1	須和間 1
15	クヌギ	1	村松 2040-4
18	ヤマザクラ	1	須和間 1246-2
21	カシ	1	須和間 589
22	アカガシ	1	須和間 1
23	サカキ	1	須和間 1
24	アカガシ	1	須和間 1
25	ヒイラギ	1	亀下 304
26	クロマツ(みこしの松)	1	豊岡 450
27	クロマツ	1	豊岡 450
28	ケヤキ	1	亀下 126
30	スギ(幹まがり杉)	1	村松 1624-1
31	エゾヤマザクラ	1	村松 1370-2
32	スダジイ	1	村松 4-45
33	エノキ	1	村松 4-45
35	ヒサカキ	1	豊岡 1702-8
36	ヤマザクラ	1	船場 616-4
38	ナツグミ	1	照沼 869-1

※7, 9, 10, 16, 17, 19, 20, 29, 34, 37 は登録解除により欠番



人物埴輪（県指定文化財）



堀米 A 遺跡出土翡翠製大珠（県指定文化財）

## 参考資料

### ○東海村歴史と未来の交流館条例

令和3年3月24日

条例第1号

#### 目次

- 第1章 総則（第1条—第4条）
- 第2章 博物館（第5条—第11条）
- 第3章 活動施設（第12条—第17条）
- 第4章 雑則（第18条）
- 附則

#### 第1章 総則

##### （趣旨）

第1条 この条例は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第1項の規定に基づき、博物館と活動施設とが複合する施設（以下「複合施設という。」）設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

##### （名称及び位置）

第2条 複合施設の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
東海村歴史と未来の交流館	東海村大字村松768番地38

##### （複合施設の構成）

第3条 複合施設は、次に掲げる施設をもって構成する。

- （1）博物館
- （2）活動施設

##### （職員）

第4条 複合施設に、複合施設を統括的に管理運営する館長のほか、副館長（第6条に規定する博物館長を兼ねる。）及び必要な職員を置く。

#### 第2章 博物館

##### （設置）

第5条 郷土の歴史、自然、民俗等に関する資料を保存し、及び活用するため、博物館を設置する。

##### （職員）

第6条 博物館に、博物館長及び学芸員のほか、必要な職員を置く。

##### （事業）

第7条 博物館は、次に掲げる事業を行う。

- （1）実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真等（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。
- （2）博物館資料に関する電磁的記録を作成し、公開すること。
- （3）博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- （4）博物館資料に関する図録、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- （5）博物館資料に関する講演会、研究会等を開催すること。

- (6) 地域の郷土資料を活用し、及び情報発信すること。
- (7) 学芸員その他の博物館の事業に従事する人材の育成及び研修を行うこと。
- (8) 東海村立の小学校、中学校、図書館、中央公民館等と協力し、その活動を援助すること。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、東海村教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事業

2 博物館は前項各号に掲げる事業の充実を図るため、他の博物館との間において、資料の相互貸借、職員の交流その他の活動を通じ、相互に連携を図りながら協力するよう努めるものとする。

3 博物館は、第1項各号に掲げる事業の成果を活用するとともに、東海村立の小学校、中学校、社会教育施設その他の関係機関及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、地域における教育、学術及び文化の振興その他の活動の推進を図り、もって地域の活力の向上に寄与するよう努めるものとする。

（開館時間）

第8条 博物館の開館時間は、別表第1に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、開館時間を変更することができる。

（休館日）

第9条 博物館の休館日は、次に掲げるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日）
- (2) 休日の翌日（当該翌日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときは、その翌日以降の土曜日、日曜日又は休日のいずれにも当たらない日）
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

（入館の制限）

第10条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、博物館の入館者に対し、当該博物館への入館を拒み、又は当該博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 博物館資料及び博物館の施設、設備等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- (2) 博物館の秩序を乱し、又は他の入館者に迷惑をかけるおそれがあると認められるとき。
- (3) 博物館の管理又は運営上必要な指示に従わないとき。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、入館することが不適当と教育委員会が認めるとき。

（損害賠償の義務）

第11条 博物館資料及び博物館の施設、設備等を損傷し、又は滅失した者は、教育委員会の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない事由があると認めた場合は、この限りでない。

### 第3章 活動施設

（設置）

第12条 歴史、自然、科学等を通じた体験活動及び多世代間の交流を促進し、もって地域の活性化に寄与するため、活動施設を設置する。

（活動施設の構成）

第13条 活動施設は、交流スペース、屋外交流広場及び飲食提供施設をもって構成する。

（利用時間）

第14条 活動施設（屋外交流広場を除く。）の利用時間は、別表第2に掲げるとおりとする。ただし、村長が必要と認めるときは、利用時間を変更することができる。

（休業日）

第15条 活動施設の休業日は、次に掲げるとおりとする。ただし、村長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休業日を設けることができる。

- （1） 月曜日（月曜日が休日に当たるときは、その翌日以降の最初の休日でない日）
- （2） 休日の翌日（当該翌日が土曜日、日曜日又は休日に当たるときは、その翌日以降の土曜日、日曜日又は休日のいずれにも当たらない日）
- （3） 12月29日から翌年の1月3日までの日

（利用の制限）

第16条 村長は、次の各号のいずれかに該当するときは、活動施設の利用者に対し、当該活動施設の利用を拒み、又は当該活動施設からの退去を命ずることができる。

- （1） 活動施設の施設、設備等を損傷するおそれがあると認められるとき。
- （2） 活動施設の他の利用者に迷惑をかけ、又はかけるおそれがあると認められるとき。
- （3） 活動施設の管理又は運営上必要な指示に従わないとき。
- （4） 前3号に掲げるもののほか、活動施設を利用することが不適当と村長が認めるとき。

（損害賠償の義務）

第17条 活動施設の施設、設備等を損傷し、又は滅失した者は、村長の指示するところに従ってこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、村長がやむを得ない事由があると認めた場合は、この限りでない。

#### 第4章 雑則

（委任）

第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で別に定める。

#### 附 則

この条例は、令和3年7月24日から施行する。

別表第1（第8条関係）

区分	開館時間
火曜日から金曜日まで（休日を除く。）	午前9時から午後7時まで
土曜日、日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで

別表第2（第14条関係）

区分		利用時間
交流スペース	火曜日から金曜日まで	午前9時から午後7時まで
	土曜日、日曜日及び休日	午前9時から午後5時まで
飲食提供施設	火曜日から金曜日まで	午前9時から午後7時までの間において 村長が別に定める時間
	土曜日、日曜日及び休日	午前9時から午後5時までの間において 村長が別に定める時間

## 東海村歴史と未来の交流館年報

令和4年度 第2号

編集・発行 東海村教育委員会 生涯学習課  
〒319-1112  
茨城県那珂郡東海村村松 768 番地 38  
TEL 029-287-0851  
発行日 令和5年6月